

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	王子マテリア株式会社 松本工場							
代表者名	氏名	河田 克哉	役職名	工場長				
主たる事務所の所在地	長野県松本市大字笹賀5200-1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	14 パルプ・紙・紙加工品製造業						
主たる事業の概要	段ボール原紙製造							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	20,392	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	3	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

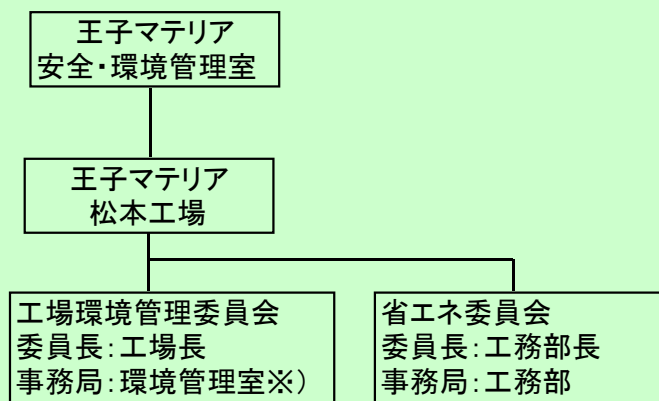
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	環境管理室にて閲覧用印刷物準備 閲覧時間 : 9:00～17:00
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・省エネルギーを最重要課題として二酸化炭素排出量削減に努める。
- ・生産工程からの廃棄物発生量の削減、廃棄物の有効利用などの対策を推進する。
- ・紙関連の基盤研究分野での成果の蓄積を活かし、温室効果ガスの排出の少ない生産技術や新製品の開発に努める。
- ・従業員等への環境教育を推進する。

#### 5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



※)  
温暖化対策責任者: 環境管理室長  
温暖化対策担当者: 環境管理室員  
計画書提出担当者: 環境管理室員

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	41,121	t-CO <sub>2</sub>	生産量	115.28	単位	千t
25年度	調整後排出量	40,134	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	356.71	t-CO <sub>2</sub> /	千t
目標年度	目標排出量	39,887	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	346.00	t-CO <sub>2</sub> /	千t
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに取組み、毎年度エネルギー使用量を1%削減する。</li> <li>エネルギー使用量削減に伴い、二酸化炭素発生量も1%削減する。</li> </ul>					
第一年度	排出量	40,329	t-CO <sub>2</sub>	生産量	120.33	単位	千t
	調整後排出量	40,304	t-CO <sub>2</sub>	原単位	335.15	t-CO <sub>2</sub> /	千t
26年度	削減率	1.92	%	削減率	6.04	%	
排出量等の増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに取組み、エネルギー使用量を削減することにより二酸化炭素排出量を削減した。</li> <li>生産設備の生産安定化及び増産により、エネルギー原単位を向上させ二酸化炭素排出量の原単位を向上させた。</li> </ul>					
第二年度	排出量	37,421	t-CO <sub>2</sub>	生産量	116.96	単位	千t
	調整後排出量	37,408	t-CO <sub>2</sub>	原単位	319.95	t-CO <sub>2</sub> /	千t
27年度	削減率	8.99	%	削減率	10.30	%	
排出量等の増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに取組み、エネルギー使用量を削減することにより二酸化炭素排出量を削減した。</li> </ul>					
第三年度	排出量	39,787	t-CO <sub>2</sub>	生産量	125.60	単位	千t
	調整後排出量	39,769	t-CO <sub>2</sub>	原単位	316.78	t-CO <sub>2</sub> /	千t
28年度	削減率	3.24	%	削減率	11.19	%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギーに取組み、エネルギー使用量を削減することにより二酸化炭素排出量の原単位を向上させた。</li> </ul>					

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
26年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
27年度	削減率		%	削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
28年度	削減率		%	削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	2.86	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
27年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	その他 パルパ <sup>°</sup> -SEロータ化	26	42	26	80
2	エネ起	その他 古紙パルパ <sup>°</sup> 品質向上対策	26	73	26	84
3	エネ起	その他 1,4Fosスクリーン単独化	26	61	26	145
4	エネ起	その他 フリーネ計設置	26	14	—	—
5	エネ起	360799 工場内エア集約化(コンプレッサ吐出圧の低減)	26	244	26~28	289
6	エネ起	その他 DDR軸受転がり軸受に更新	26	33	—	—
7	エネ起	その他 生産工程見直し、省エネ機器の導入	27~28	500	28	533
8	エネ起	360799 ポンプ <sup>°</sup> のINV化(ポンプに係る削減対策)	26~28	120	28	60
9	エネ起	その他 チェストアジアター回転数ダウン	26~28	50	27	2
10	エネ起	その他 アジター間欠運転化	26~28	20	28	1

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	987		25	13	18
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	41,121	1	40,329	1	37,421	1	39,787
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	41,121	1	40,329	1	37,421	1	39,787

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	3	3	3	3
次世代車導入割合	0	0	0	0

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	遠距離通勤者のみへの燃料費支給
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	工場前バス停へのベンチ設置により、バスの利用を促している。
物流の合理化	製品輸送後、工場へ戻る際には古紙を積み込み、エネルギー使用量を減らしている。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2001年2月9日
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場内でのアイドリングの禁止</li> <li>・インバーター化</li> <li>・LED化を始めとした省エネ</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場内でのアイドリングの禁止</li> <li>・生産設備機器の運転方法見直し</li> <li>・LED化を始めとした省エネ</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場内でのアイドリングの禁止</li> <li>・生産設備機器の運転方法見直し</li> <li>・省エネ機器の導入</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場内でのアイドリングの禁止</li> <li>・生産設備機器の運転方法見直し</li> <li>・省エネ機器の導入</li> </ul>

1.8 自由記載欄

区分		削減量(tCO2)
基準年度以前の取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余剰機器停止</li> <li>・照明のLED化</li> <li>・圧縮エア-漏れ修理_低下化</li> <li>・インバータ化</li> <li>・加温温度の見直し</li> <li>等 (H25、H24年度)</li> </ul>	1,900
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業用水の使用量削減</li> </ul>	162